年間授業計画　新様式例

高等学校 令和５年度（１学年用）　教科　　　　芸術　　科目　美術Ⅰ

教　科：　芸術　　　　　　　　　科　目：　美術Ⅰ　　　　　　　　　　　　単位数：　　2　単位

対象学年組：第　１学年　　１組～　　８組

教科担当者：（１組：大橋）　　（２組：大橋）　　（３組：大橋）　　（４組：大橋）　　（７組：大橋）　　（８組：大橋）

使用教科書：（ 美術Ⅰ　日本文教出版　　　　　　　　　　　　　　）

教科　芸術　　　　　　　　の目標：

【知　識　及　び　技　能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるよ

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育み、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い豊かな情操を培う。

科目　　　　　　　　　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫，美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 絵・彫	表現 デ	表現 映	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
１学期	A　クロッキー大会 ・オリエンテーションで美術の学びの意味や広がりについて考える ・クロッキーは思いこみではなく観察して描くことを知る ・自己紹介では積極的に発言する	年間授業計画から見通しを持つ。中学の既習事項を確認し、クロッキーの描き方を学習する 次週の準備として自己分析を実施 ◇鑑賞：巨匠のクロッキー ◎教材：コピー用紙、鉛筆	○			○	・思いこみではなく観察して描くことができたか ・学習の見通しを持とうとしたか ・自己分析して自己紹介できたか ・積極的に発言しようとしたか ◎自己分析・自己紹介レポートを提出（各自）	○	○	○	2
	B　紙芝居を作ろう ・自己紹介の紙芝居制作を通して、視覚芸術の基礎を学ぶ ・モンタージュ理論を学ぶ ・シナリオと絵コンテ、専門技術に興味を持ち、情報を可視化する方法を学ぶ	・人物クロッキー（毎週始業時）。骨格の構造を感じ取りを描く ・4人グループをつくり、紙芝居は一人1枚描いて全体でまとめる ◇鑑賞：参考映像を視聴する	○		○	○	・視覚芸術の基礎が理解できたか ・シナリオ、絵コンテが制作できたか ・紙芝居メディアの特性を理解できたか ・情報の視覚化に取り組もうとしたか ・自分を表現しようとしたか ◎鑑賞レポートを提出（各自）	○	○	○	6
	C デッサンⅠ（立体を描く） 〇デッサンの基礎「光・影・形」の描き方を習得する ・立体を二次元表現する方法を知る ・描写を通じて対象を「発見」する ・デッサンの技法を習得しようとす	・タッチを使い分ける ・光の方向と影の形を理解する ・幾何形体の石膏を描き分ける □鑑賞：巨匠のデッサン ◎教材：鉛筆、練り消しゴム、画用紙	○			○	【知識及び技能】 ・立体を二次元表現する方法が理解できたか ・描写を通じて対象を「発見」できたか ・デッサンの技法を習得しようとしたか ◎デッサンを提出（各自）	○	○	○	6
	D デッデッサンⅡ（空間を描く） 〇デッサンの基礎「構造」を描く ・モチーフ相互の関係が把握できる ・空間を表現できる ・自分なりの見方や感じ方を大切に	・技能向上の方法を学習する。画面の「構図」「比」「余白」 ◇鑑賞：巨匠のデッサン ◎教材：練消ゴム、石膏、スケール	○			○	・モチーフ相互の関係が把握できたか ・空間を表現できたか ・自分なりの見方や感じ方を大切にしたか ◎デッサンを提出（各自）	○	○	○	6
	E ピクシレーション制作① 〇コマ撮りアニメを実写で制作する ・カメラアングルを使い分け、印象を考えて意図的に表現する。 ・日本絵巻の表現を作品に活かす。 ・映像表現の可能性を追求しようと	・日本絵巻の表現を学習する ・カット割り、カメラアングルの工夫 ・撮影に使用する物や背景を工夫する ・展開、照明、音響を考える	○		○	○	・カメラアングルを使い分、印象を考えて意図的に表現できたか ・日本絵巻の表現を活かしたか ・映像表現の可能性を追求しようとしたか ◎シナリオと絵コンテを提出（グループ） ※撮影を夏休みの宿題とする	○	○	○	6
２学期	F ピクシレーション制作② 〇写真のアニメーション化 ・編集で表現を工夫する ・日本絵巻の表現を活かす ・発表を前提に表現を追求しようと	・写真をつないで各自シーンをつくる ・シーンを繋いで1本にまとめる ・音入れする ◇鑑賞：相互鑑賞	○		○	○	・編集で表現を工夫したか ・与える印象を考えた意図的な表現ができたか ・発表を前提に表現を追求しようとしたか ◎ピクシレーション動画を提出（グループ）	○	○	○	4
	G　椅子をデザインする（工芸） 〇理想の椅子のデザイン提案 ・椅子の機能と役割を歴史から学ぶ ・デザインとは何か自分の言葉で語れる ・機能をデザインする	・椅子を中心にデザイン史を概観する ・デザインに人間工学を取り入れる ・スケッチを図面化する ・正投影図と等角図の描き方を学		○		○	・椅子の機能と役割を歴史から学べたか ・デザインとは何か自分の言葉で語れるか ・機能をデザインできたか ・新しい価値観を創造しようとしたか ◎「今日のアイデアシート」提出（各自・毎回）	○	○	○	8
	H　パッケージデザイン（工芸・彫） 〇「贈る」気持ちを形にする ・立体モデルを完成させる ・形を探り、構造を考える	・平面から立体への変化を想像する ・幾何学形態を応用する ・設計を詰め作品の完成度にこだわる		○		○	・立体モデルを完成させられたか ・形を探り、構造を考えたか ・完成度についての意識を持とうとしたか ◎「今日のアイデアシート」提出（各自・毎回）	○	○	○	8
	I ピクトグラムデザイン 〇絶滅危惧種を絵文字で表現 ・問題を発見しポスターでアピールする ・視認性、判読性を考慮する	・10種の動物をピクトグラムにする ・感じ取った心情を視覚化する ・発見した問題を可視化する ◇鑑賞：身近なピクトグラムとサ		○		○	・問題を発見しポスターでアピールできたか ・視認性、判読性を考慮したか ・デザインの共通性を意識したか ◎「今日のアイデアシート」提出（各自・毎回）	○	○	○	8
３学期	J 水墨画 〇一筆からイメージを膨らませる ・技法を使い分け抽象化して表現する	・余白の美を知る ・水墨画の特徴を学習する ◇鑑賞：日本文化と美意識 ◎教材：和紙、墨汁、彩色筆	○			○	・水墨画の特徴を理解したか ・技法を使い分け抽象化して表現したか ・日本の美意識を大切にしようとしたか ◎「今日の手習い」、水墨画提出（各自）	○	○	○	8
	K 水彩画 〇身近な情景から感じた光と影を表す ・描画材の特性を意図に応じて工夫する	・画家が描きたかった情景を考える ・光と影を効果的に表す構図を考える ・水彩画の特徴を学習する	○			○	・描画材の特性を意図に応じて工夫したか ・手順を考えて見通しを持って表現したか ・心で捉えた光から主題を生み出そうとしたか ◎「今日の手習い」、水彩画提出（各自）	○	○	○	8 70